平成二十六年度山上憶良短歌賞受賞作品一覧

小学生の部

憶良賞　西郷小学校　福田真貴
美容師の母が笑顔で奏でてるシャキシャキその音いつか私も

入選　上灘小学校　倉光飛雄馬
もう4年金魚の大きさ手のサイズいつのまにやらこいつも家族

入選　明倫小学校　森本虎徹
「ただいま」といったしゅん間弟がとびでてくるよグローブ持って

入選　社小学校　井勢陽人
トクトクと小さく動く母の腹命のやどる小さな鼓動

入選　社小学校　鹿田花那
前庭のコスモスの花風にゆれ母のまえがみいっしょにゆれる

入選　関金小学校　杉山奈々子
お手玉の縫い目がほつれ出た豆の一つ一つが祖母との思い出

入選　船上小学校　生田有唯
おばあちゃんとぎゅうしゃのうしにぐりとぐらの本をよんだらモーといったよ

佳作　河北小学校　陶山拓真
わが家族一家そろってでこ広しそのかがやきにまさる物なし

佳作　上北条小学校　河崎佑衣
おこられて今まで泣いてた弟がピアノのリズムでステップふみだす

佳作　上灘小学校　石井まとい
おとうさんおやすみの日はねてばかりそんなおなかにとびのるわたし

佳作　明倫小学校　福山凜
母さんが「ただいま」言うと「おかえり」と大きな声でかえした私

佳作　小鴨小学校　前田侑香
弟がアルバムを見てかわいいと小さいころの母の写真に

佳作　山守小学校　毛利魁
お母さん家と仕事は声ちがう声がちがうと見た目もちがう

佳作　稲葉山小学校　葉狩太陽
おじいさんいつもふろたきありがとうやさしさあふれおゆもあふれる

佳作　船上小学校　高力みお
熱々のおなべかこんではしのばすぼくのはしの先に父さんのはし

佳作　船上小学校　前田亮靖
お母さん手を上げてするフラフープわたしもこしふりお父さんもする

佳作　北谷小学校　西谷実祐亜
ま夜中に目がさめたときおかあさんひとりでテレビを見ていたんだよ

佳作　高城小学校　山根佑斗
兄弟で古きアルバム読み返しだれがかわいい私でしょ

佳作　上小鴨小学校　鈴木悠斗
野球のとき応えんしているお父さん大きな声でぼくの名を呼ぶ

佳作　成徳小学校　松崎理子
かいと君いつもふたりで笑う日々あたり前だがいつまで続く

佳作　久米中学校　岡本楓那
ひもとれて逃げだした犬追いかけてつかまえようとおいかけた道

中校生の部

憶良賞　西中学校　矢田一葉
「またきない」窓からのぞくおばあちゃんいつもやさしい煮物のにおい

入選　河北中学校　山本侑大
「元気にやれよ」久しぶりに聞く父の声弟と二人受話器とりあう

入選　河北中学校　山田翔陽
川の字をみんなでまねてねころんだ見上げた夜空に満天の星

入選　河北中学校　井芹朋華
待望の弟生まれた寒い日が兄と呼ばれた最初の一日

入選　法勝寺中学校　本間夕貴
明け方にぽわっと光る台所いつもの朝の母のおにぎり

入選　西中学校　牧田宥依
夜の道窓からこぼれる温かさ家に向かって一歩踏み出す

佳作　河北中学校　牧恭平
ばあちゃんが名前を呼ぶと孫ひ孫全員呼んでやっと当たった

佳作　河北中学校　木村まりな
大漁だ二人の夜釣り父さんと暗い海でも安心できる

佳作　河北中学校　丸山聖未
「まりな～」と抱きついてくるお母さん私の母は親バカです。

佳作　東中学校　吉良圭亮
目が見えぬ祖母がポロリという言葉光だけでも感じて喜ぶ

佳作　鴨川中学校　西村慶哉
雷が毎日落ちる家だけどたまにでてくるきれいな虹

佳作　大栄中学校　田中大智
帰ったらいつも二人で学校話親の代わりの祖母と一緒に

佳作　米子北斗中学校　高下朋子
なんでかな弟見ると抱きつきたいテレビ見ててもねがお見てても

佳作　溝口中学校　幅田麻友
父の背は私の涙ぬぐう場所風鈴の音日盛りの庭

佳作　日南中学校　垰田優衣
「おかえり」の素っ気なさがもどかしく伝えたいのは「おつかれさま」で
姉妹げんか一時休戦気づいたらいつのまにやらしゃべっていたね

高校生の部

憶良賞　倉吉北高等学校　徳井彰洋
朝起きて寝ぼけた母がおやすみとそれに答える日本語がない

入選　倉吉東高等学校　有福万穂
背中押し頭をなでた母の手は節浮き赤く我より小さい

入選　倉吉東高等学校　寺地陽菜
父さんがタバコをやめたおかげかな。けむりとともにケンカなくなる。

入選　倉吉東高等学校　遠藤香里
テーブルが狭く感じるこのごろに大きくなったと言われるうれしさ

入選　倉吉東高等学校　岩田美月
母私互いに顔を見つめれば過去と未来の合わせ鏡に

入選　倉吉農業高等学校　中村孝史
しわのない制服にそでを通すとき肌で感じる母への感謝

佳作　倉吉東高等学校　川田耕太郎
我が姉の初めて取りし免許証すごいと褒めて乗るの断る

佳作　倉吉東高等学校　福田万祐子
妹は怒られぬ身を羨むが怒られる身をこがれる私

佳作　倉吉東高等学校　中村未那実
「おかえり」と私を迎える祖母の声今も昔も落ちつく声だ

佳作　倉吉東高等学校　盛山友歌
三時起き赤ぎれだらけの母の手に我が身のぜいたく思い知る冬

佳作　倉吉東高等学校　涌嶋悠花
たんじょうびかぞくでいわうだいじなひちかづいてくる一人立ちの日

佳作　倉吉農業高等学校　北昂平
肉親の冷たい手を持つ父の瞳に悲しみよりもやさしさを見る

佳作　倉吉農業高等学校　陶山智美
なぜだろう食費削った母のごはんどんなごちそうよりもおいしい

佳作　倉吉北高等学校　安長孝祐
お父さんちょっと来てやと僕を呼ぶどうせいつもの背中かいてくれ

佳作　倉吉北高等学校　門脇聖弥
おじいちゃんおうえんしてるタイガースホームラン打たれ寝る準備する

佳作　倉吉北高等学校　西村留奈
妹を見上げてしかる父を見て母と2人で笑いこらえる

一般の部

憶良賞　境港市　佐々木千代子
ただいまと帰るあなたが在ればよし夕暮れの空に枇杷のはな咲く

入選　倉吉市　佐々木美由喜
犬一匹連れシベリアへ発ちゆくと兄はのこせり古き歌集に

入選　鳥取市　河上奈津代
「どんぐりの帽子いろいろあるわよね」子の手引く娘と琵琶湖辺り行く

入選　鳥取市　中尾恭治
病む身にも土に親しむ生前の妻を重ねて植える水仙

入選　八頭郡智頭町　葉狩静枝
本好きの母はデイより借りて来し大活字文字の「坊ちゃん」を読む

入選　西伯郡大山町　長谷川和子
日曜の午後ともなれば鍋みがく母の鼻歌なんであったか

入選　倉吉市　梅田正江
この鍋を買った日は雨が降っていて君たちはまだ生まれてなかった

佳作　倉吉市　岸根京子
五人乗り五人で降りる路線バス野道を駆ける盆のひと日に

佳作　東伯郡琴浦町　井木範子
夕されば古里に帰ると母はよく風呂敷包みを拵(さとこしら)へをりき

佳作　東伯郡三朝町　高野貴美代
念仏を唱える爺の傍らで幼がまねて鉦を打ちおり

佳作　東伯郡三朝町　本間温子
玄関に試歩する母の布靴を左右の間隔とりて揃えぬ

佳作　鳥取市　平尾潤子
何にでも「ありがとう」と言う声が今日はさみしい式近づけば

佳作　鳥取市　松村豊子
くらしよしと研屋魚町竹輪の香風呂家の暖簾かあさんの背

佳作　東伯郡三朝町　山口茂樹
臨終の母の手にぎる束の間の二月の雨は黒く冷たし

佳作　岩美郡岩美町　若宮和美
だいじょうぶ孫の言葉に救われるわずか二才の不思議なちから

佳作　鳥取市　生田麻也子
お薬はのみましたかと朝なさなアイラブユーに代えて夫へと

佳作　米子市　